

## Gr・L型擁壁敷設に関する注意事項



## Gr・L型擁壁の施工に関して

### 1.Gr・L型擁壁

Gr・L型擁壁は車両用防護柵B種及びC種を設置できる基礎をL型擁壁と一体化させた製品で衝突実験により、その耐久性と安全性を確認しておりますので安心して車道に利用できる擁壁として開発されました。

### 2.製品の種類

Gr・L型擁壁は道路に利用されるケースを想定して直線用とカーブ用(r=20)の2種類をご用意しています。

弊社の製品はフーチング(底版)部分を直線用にするか、カーブ用にするかで区別され、縦壁部分は共通(Rタイプに統一)としております。

### 3.製品の敷設

#### 1)据付

製品の敷設は所定の重機で安全に行ってください。吊金具は「フレノリンクボルト」と呼ばれる特殊なアイボルトを使用します。通常のアイボルトの利用はご遠慮ください。アイボルトを使用しますと、ボルト折れなどにより製品が脱落する恐れがあります。

2点吊もしくは、3点吊となりますので製品重量に見合ったワイヤー及びフックのご用意を御願します。

#### 吊金具等一覧表

製品	吊り方	金具φ	備考	重量kg
H=500	3点吊	M20	テールアルメ直上での位置修正などの想定	978
H=800			1250	
H=1000			1320	
H=1500	2点吊		1740	
H=2000			2330	
H=2500	3点吊		安全を見て同サイズから3点吊としています。	3180
H=3000	3点吊	M24	吊金具が変わります。	4200

※2点吊は縦壁背面のインサートを利用しますが、ほぼ水平に吊り上げることが出来ます。

吊金具の取付け取り外しは大きめのモンキーレンチなどでも可能です。

レンチ幅 M20用:30mm以上 M24用:35mm以上

#### 2)墨だし

Gr・L型擁壁は構造上縦壁部分に1:0.04の勾配が設けられています。カタログ中の「σ」寸法が製品天端のセットバック寸法となります。墨だし時に考慮願います。

また、異なるサイズを組み合わせる場合は大きいサイズの下部が前に出ますので、官民境界が壁体前面にある場合はご注意ください。

#### 3)パッキン(ソフトロン)の利用

弊社のGr・L型擁壁は縦壁部分がRタイプと共通部材となっています。Gr・L型擁壁は縦壁部分に構造上必要な、1:0.04の勾配がついています。Rに対応するために縦壁が下図1のような形状となっております。

右図1は強調して描いていますが、Rタイプ用に縦壁が出来ている影響で、1:0.04の勾配があるために製品の上部になると細くなってしまいます。

※直線用は、底版部分に突起を設けて連結が可能ないようにしておりますので、縦壁部分はそのままRタイプです。

したがって、図面上 L寸法が2000mmよりも若干短くなっております。

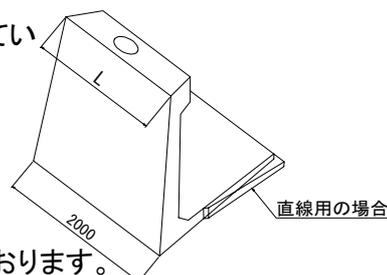


図1

ソフトロン(パッキン材)は、この隙間を埋める付属品です。写真1はH=1500における状況です。写真2のように、擁壁縦壁部分接合部前端に貼り付けてご利用ください。

ソフトロン貼り付け状況  
写真1

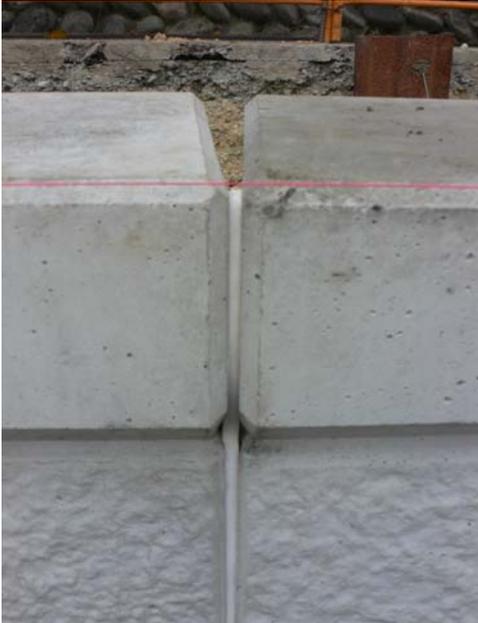


写真2



※擁壁高さが高くなると隙間も大きくなるため、状況により重ねるなどの方法で対応ください。

#### 4) 連結ボルト

製品の連結は製品1本につき底版1箇所、縦壁1箇所です。いずれもM16のボルトL=70を標準としています。ボルト1本・ナット1個・ワッシャー2枚で1箇所を連結します。ボルト径M16(24サイズ)のメガネレンチまたは、ソケットレンチなどをご用意ください。

#### 5) 水抜き穴が埋まる場合

通常根入れ深さはH=500ですが、Gr・L型擁壁はH寸法が低いサイズですと、水抜き穴が埋まるケースがあります。その場合は、ノックアウト用の水抜き穴を利用してください。

写真下部モルタル充填部分は通常の水抜き穴位置です。上側がノックアウトによる穴位置。

水抜き穴状況



拡大写真



#### 5) 間詰め処理

製品縦壁部分がRタイプと共用となっているため、縦壁裏側及び製品天端に開きが出ます。適宜間詰め処理を御願います。また、Rタイプ施工時は底版に開きが出ますので、連結を完全にするためにも、底版の隙間は間詰めコンクリート処理を御願います。

※フランジによるボルト結合部分は必ず、間詰めコンクリート処理をおこなってください。

#### 間詰め処理の事例



#### 4. 防護柵の設置

防護柵を設置します。基本的には、Gr・L型擁壁に対し垂直になるように設置してください。車両用防護柵は路面と垂直な高さを規定の寸法とすることで本来の機能を発揮します。設置方法は、防護柵設置基準に倣い設置を御願います。



※縦断勾配 6%の施工事例。

(株)丸治コンクリート工業所